



小野晃典研究会

マーケティング論（広告論・消費者行動論）

研究領域

私の研究・教育領域は、マーケティング論です。マーケティング論のフレームワークを用いて、「なぜ消費者はこのブランドを選択したのか」、「なぜこの広告は売上に貢献しているのか」、「なぜこの店はここに立地しているのか」といった具体的な課題を解くためのモデルの構築と実証を目指します。マーケティング論は広範な学問領域ですが、私の中心的な研究・教育領域は広告論と消費者行動論です。製品情報に関するコミュニケーションを、主として消費者心理を読み解くことによって分析する、というスタンスです。

研究会の特徴

ゼミ活動を通じて自己成長を遂げたいという高いモチベーションを抱いて集った個性あふれるゼミ生たちが、第一の特徴です。そんなゼミ生たちのモチベーションの高さに促されるようにして指導に熱を入れる私が、第二の特徴です。そして、ゼミ生たちと私が創り出す高度な活動内容と研究成果が、第三の特徴です。私は、学者として、自分の研究上の前進に喜びを覚えるのと同じくらい、教育者として、ゼミ生の日々の成長に喜びを感じながらゼミ指導を行っています。

学生への要望

第一に、マーケティング課題を解くことに熱中する私や歴代ゼミ生たちと気持ちを共有し、自立的に課題発見・課題解決を行う能力を持ち、第二に、在籍中の2年間、私や歴代ゼミ生と同じように高いモチベーションをもって、アルバイトやサークル活動より優先してゼミ活動に取り組み、なおかつ、第三に、そうした価値のある質の高いゼミを自ら創ってほしいとする学生に入会してもらいたいと思っています。

選考方法

書類審査・面接等によって人物像を評価します。選考には、私だけでなく大学院生および現役ゼミ生も参加します。詳しくは、今後アップロードされるゼミHP上の情報を、随時参照してください。

経歴

1995年 慶應義塾大学商学部 卒業；2000年 同大学院商学研究科博士課程 修了（商学博士）
1997年 慶應義塾大学商学部 助手；2000年 専任講師；2003年 助教授／准教授；2010年 教授
その間、カリフォルニア大学バークレー校 ハース経営大学院、カリフォルニア州立サンノゼ大学 シリコンバレー経営大学院、北京大学 光華管理学院、ミシシッピ大学 経営大学院にて客員研究員を歴任

参考文献

指導教授の研究・教育実績について：<http://news.fbc.keio.ac.jp/~akinori/>
ゼミ生の研究成果・入ゼミ情報について：<http://news.fbc.keio.ac.jp/~onosemi/>
ゼミ外メディアでのゼミ紹介記事：
広告業界誌『宣伝会議』第745号（2008年7月）
慶應義塾広報誌『塾』第260号（2008年10月）
河合塾『栄冠をめざして』SPECIAL 特集号（2009年7月）
<https://www.52school.com/infsr/special/ss/ss-2210-3.jsp>

ゼミの特徴(ゼミ員より)

当研究会の最大の特徴は、ゼミ生全員の熱い意欲の結晶である高度な研究成果です。昨年度は、「慶應義塾大学商学会賞」を受賞し、初挑戦で「国際eビジネス学会」優秀論文賞受賞という高い評価を得ました。そして今年度も英語での論文執筆に挑戦します。このように小野ゼミ



生たちは、伝統と革新の精神を胸に、自己成長のためのビジョンと熱意を持って研究活動に取り組んでいます。また、商学部代表としてオープンキャンパスで高校生向けのオープンゼミを行うなど、小野ゼミのフィールドは研究面に留まりません。今年度は、小野ゼミ初となる全塾ゼミナール委員長も輩出しました。

指導教授の小野先生は、何事にも全力で取り組むゼミ生の活動を奨励し、自主性を尊重しつつ、ゼミ生一人ひとりの可能性を最大限に伸ばす場を整えてくださいます。先生のご自宅にて夜通しでホームパーティが開催されるほど先生とゼミ生の距離は近く、そんな先生を慕ってOB・OGもしばしばゼミに遊びに来ます。マーケティングを真剣に学びたいという強い意欲を持つ方や、三田の2年間で大きく成長したいと望んでいる方にとって、小野ゼミこそ最高かつ最適な環境なのです。

ゼミ員構成

【第7期】4年生18名(女子6名、他学部1名) 【第8期】3年生18名(女子6名、他学部1名)

活動内容

【3年次】春学期は、基礎知識習得のため、ケースメソッド、ディベート(以上、木曜本ゼミ企画)、基礎文献レポート、コンピュータによる多変量解析、フリーディスカッション(以上、月曜サブゼミ企画)等に取り組めます。秋学期は、春に蓄積した知識を土台に、3つの共同プロジェクトチームを立ち上げて、塾内外の研究企画に参加する期間となっています。

【4年次】3年生の研究企画を指導しつつ、自らの卒業論文を執筆します。3年生には、就職活動のために業界研究会も開きます。また、卒業論文のほかに、懸賞論文に応募する有志も少なくありません。

三田祭

三田祭では、「関東十ゼミ討論会」、「商学部異分野インゼミ研究発表会」、「マーケティング・ゼミ合同研究報告会」の3大共同研究プロジェクトを、各発表会に先駆けて発表します。全論文を一度に展示し、希望者には執筆にあたったゼミ生による1対1の解説も行いますので、ぜひご来場ください。

入ゼミ選考について

当研究会では、自己成長のためのビジョンと熱意を持ち、仲間と協力しつつも主体的に活動できる2年生の皆さんの積極的なご応募をお待ちしております。

連絡先

小野晃典先生	akinori@fbc.keio.ac.jp	小野ゼミ HP	http://news.fbc.keio.ac.jp/~onosemi/
荻野真央(ゼミ長)	oginoma_0331@yahoo.co.jp	質問用メールアドレス	onozemi9@gmail.com
樋口優美(入ゼミ)	yumi-0416@a5.keio.jp		